

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（4月）

青森県三八農林水産事務所
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稻

(1) 生育の状況

管内のは種進捗は、は種始が4月12日（水稻作付面積の5%）となる見込み。

表1 管内は種進捗状況

	本年	平年
は種始（5%）	（4月12日）※	4月12日
は種盛期（50%）	—	4月17日
は種終（95%）	—	4月23日

※見込み

(2) 今後の対策等

健苗育成のため、適正な温度・水分・肥培管理を徹底する。

効果的な水管理をするため、畦畔のかさ上げ・補強・整備を行う。

2 小麦

(1) 生育の状況

4月10日現在の生育状況は、草丈は平年より短く、 m^2 当たり茎数は平年より少なかった。幼穂形成期は3月30日で、平年並であった。凍上害により根が持ち上がり、枯死・生育不良株が発生しているほ場がみられる。

表2 小麦生育調査結果（4月10日現在） 品種：ネバリゴン

場所		は種日 (月・日)	草丈 (cm)	茎数 (本/ m^2)	幼穂形成期 (月・日)
八戸市 市川町	本年	10月7日	16.5	707	3月30日
	前年	10月9日	19.8	899	4月1日
	平年	9月30日	17.6	884	3月30日

※ 平年はH26～R7の平均値

(2) 今後の対策等

適期の病害虫防除及び止め葉抽出期の追肥に努める。

II 野菜

1 ながいも

(1) 生育の状況

春掘り作業は、例年より5日程度早い3月10日頃から始まり、作業は順調に進んでいる。

J Aへの入庫数量は4月5日現在で約5.8万コンテナ（20kg入り）、過去5か年平均比127%となっており、順調に入庫が進んでいる。

(2) 今後の対策・指導等

地温上昇による芽の動き出しや、スポンジ症等による品質低下を軽減するため、4月末を目途に掘取りを終了する。

2 ねぎ

(1) 生育の状況

定植作業は、6月下旬～7月上旬出荷の作型は例年並の3月12日頃から始まり、8月中旬出荷の作型も例年並の3月26日頃から始まっており、定植後の生育は順調である。

(2) 今後の対策等

出荷時期に合わせ計画的に定植作業を行う。また、4月下旬から5月にかけては、風が強く、乾燥しやすい時期となるため、不織布での被覆などによる防風対策を行うほか、定期的にかん水を行う。

3 にんにく

(1) 生育の状況

4月10日現在の草丈及び生葉数は、旧倉石を除き平年並から平年を上回った。病害は、五戸でさび病の発生がわずかにみられたものの、全般に発生は少ない。

表3 生育調査結果（4月10日現在）

場所	年次	品種系統	植付日	マルチ	りん片分化期	草丈(cm)	生葉数(枚)	茎径(mm)
五戸 (桜沢)	本年	白玉王	10月7日	グリーン	-	44.1	6.0	15.9
	平年比		8日遅い		-	114%	118%	107%
	*平年		9月29日		4月14日	38.8	5.1	14.8
	*前年	白玉王	10月6日	グリーン	4月18日	48.1	5.3	14.9
旧倉石 (倉石中市)	本年	在来種	10月7日	グリーン	-	34.4	4.5	12.1
	平年比		6日遅い		-	89%	87%	80%
	平年		10月1日		4月15日	38.5	5.2	15.2
	前年	在来種	10月2日	グリーン	4月21日	32.7	4.8	15.1
新郷 (扇ノ沢)	本年	在来種	10月4日	グリーン無穴	-	41.8	5.0	14.4
	平年比		1日遅い		-	127%	114%	98%
	平年		10月3日		4月17日	33.0	4.4	14.7
	前年	在来種	10月3日	グリーン無穴	4月21日	34.6	4.2	-
田子 (日ノ沢)	本年	白玉王	10月5日	黒	-	36.0	5.3	-
	平年比		2日早い		-	103%	110%	-
	平年		9月30日		4月16日	35.1	4.8	13.9
	前年	白玉王	9月28日	グリーン	4月21日	37.3	4.5	-

※平年値について（五戸はR7、旧倉石はR8から調査地点変更）

五戸：H28年～R7年までの過去10年間の平均値（参考値）

旧倉石：H28年～R7年までの過去10年間の平均値

新郷：H28年～R7年までの過去10年間の平均値

田子：H28年～R7年まで（R2年を除く）の過去9年間の平均値

表4 病害等発生状況調査結果（100株調査：4月10日現在）

場所	春腐病	さび病	欠株	二本立ち
五戸	0%	1%	1%	0%
旧倉石	0%	0%	0%	0%
新郷	0%	0%	0%	2%
田子	0%	0%	0%	3%

(2) 今後の対策等

マルチが剥がれた箇所があれば、早めに補修する。明きよの手直しをするなど、排水対策を徹底する。葉先枯れ症状のあるほ場や、葉色が淡いほ場では、病害防除と併せて葉面散布剤を活用し、生育促進に努める。病害は、降雨前の薬剤散布を徹底する。

4 いちご

(1) 生育の状況

「とちおとめ」は、草高が36.2cm（平年比101%）と平年並となっている。

「よつぼし」は、草高は25.0cm（平年比97%）とほぼ平年並となっている。

生育観測ほでは、現在、開花～収穫中である。害虫はオンシツコナジラミの発生がみられる。

表5 生育調査結果（令和8年4月10日現在）

品種名	年度	定植	草高 (cm)	葉柄長 (cm)	小葉長 (cm)	小葉幅 (cm)
とちおとめ	本年	8月26日	36.2	27.0	9.4	7.1
	(平年比)	(1日遅い)	(101%)	(106%)	(100%)	(93%)
	平年	8月25日	35.9	25.4	9.4	7.6
	前年	9月3日	32.2	23.0	10.0	8.1
よつぼし	本年	9月16日	25.0	20.0	7.4	5.8
	(平年比)	(1日早い)	(97%)	(114%)	(98%)	(97%)
	平年	9月17日	25.8	17.5	7.6	6.0
	前年	9月25日	23.3	16.8	7.7	6.0

※平年：「とちおとめ」平成27～令和6年（植付年）の10か年の平均値
（但し、定植日については平成28年～令和6年の9か年平均）
「よつぼし」令和元～令和6年（植付年）の5か年の平均値

(2) 今後の対策等

適正な温度管理を行う。

本ほでのうどんこ病やオンシツコナジラミ、ハダニ類の防除を徹底し、収量品質向上につなげる。

また、育苗ほにおける炭そ病の防除を徹底する。